

～意見交換会開催のご報告～



小学校統廃合に関する意見交換会を開催しました。

※掲載するご意見は、ご意見の趣旨を踏まえ要約させていただきました。ご了承ください。

本市では、児童生徒にとつてより良い教育環境を目指していくため、市内の小中学校に関する適正配置の具体的な推進に向けて取り組んでいるところです。学校や地域の様々な状況を勘案しながら進めていくため、昨年11月から学校区ごとに意見交換会を開催してきました。ここでは、1月に開催しました意見交換会の主なご意見と回答の内容についてお知らせいたします。なお、会議録につきましてはホームページに掲載させていただきますのでご参照ください。

谷井田小学校区における意見交換会開催概要（平成29年1月17日）

- 市民** PTAにおいても統合に向けて話し合いが必要だと思うが、いきなりPTAだけで話し合いを進めるのは難しい。三島小学校や豊小学校の子ども達のこと尊重しつつ、相互理解を深めながら進めていくためにも、他の自治体の具体例を示してもらいたい。
- 市** 統廃合に向けた話し合いの熟度が高まってきたら、PTAなどの代表者の方々による統合検討委員会を立ち上げ、将来の学校についての話し合いをしていただき、新たな学校づくりに向けて取り組みを進めていただきたいと考えている。例えば、阿見町では、統合検討委員会を立ち上げながら、廃校になる学校と統合する学校とで、学校の歴史や伝統を学んだりして交流を図っている。
- 市民** 皆さんが一番心配されていることだが、安全に学校へ通うための交通手段を、早めに示してほしい。
- 市** 市としても、安全で安心な通学路で通って頂きたいと思っているので、今後は、保護者の皆さまを対象とした意見交換会などの話し合いの場を設けてお示しをしていきたい。
- 市民** 本日実施している意見交換会については出席者が非常に少ない。意見交換会のような場を今後も実施していくのであれば見直しが必要である。また、統廃合に関する詳細な情報について、迅速かつ的確に提供していただきたい。
- 市** 本日の出席者の状況については、十分な周知が不足していた結果だと認識している。話し合いの内容や質問等については、ホームページ等で皆さんにお知らせし、今後は、児童や未就学児の保護者を対象とした意見交換会の場を設けたいと考えている。
- 市民** 統合の決定についてはどのタイミングで行うことになるのか。
- 市** まずは統廃合に関する問題を洗い出し、一つ一つの問題に対して解決策を話し合っていくながら、統合に向けた話し合いの熟度を段階的に高めていきたい。



板橋小学校区における意見交換会開催概要（平成29年1月19日）

- 市民** （仮称）富士見ヶ丘小学校の建設は始まっているのか。みらい平の子ども達を東小学校等に振り分ける案はないのか。
- 市** 現在、平成30年4月開校を目途に建設をしているところである。人口が急増しているみらい平地区については、当該地区のまちづくりを進めていくためにも、みらい平地区に学校をつくり通っていただくことが大切だと考えている。
- 市民** 統合後の学区見直しの可能性はあるか。また、統合後の児童の登下校や教員の事務負担をどう考えているか。
- 市** 学区見直しの可能性はあるが、児童の友達関係等に配慮すると、（学区を分けないで）学校単位での統合が望ましいと考えている。また、教育のレベルやPTAの会費、活動内容等については、準備委員会の中で決定していくことになる。
- 市民** 板橋小学校と東小学校は、市内でも一番最初に統合を行う予定になっているため、行政からのアドバイスをいただきたい。また、子ども達の不安を払拭するため、統廃合のスケジュールの中に、両校の子どもたちの事前交流会を行うことを検討してほしい。
- 市** 交流の機会は重要と考えている。他の事例を参考にしながらやっていきたい。例えば、東小学校の児童や保護者の方々に、板橋小学校の授業参観にきていただくなど、理解してもらえようように交流を行っていくことも考えていきたい。



問 教育委員会学校教育課
☎ 58-2111（内線7104）